

研究課題名	Enterobacter spp.菌血症に対する第3世代セファロスポリン療法の臨床的評価
研究の意義・目的	Enterobacter は腸内細菌の一つです。この細菌によって引き起こされる感染症は抗菌薬が効きにくくなる耐性化の問題から適切な治療が必要とされています。カルバペネムというお薬はより多くの細菌に効果を示すため有効な治療薬の一つになりますが、使用しすぎるとそのお薬が効かない細菌の検出に繋がります。カルバペネムよりも抗菌作用が狭い第3世代セファロスポリンというお薬が Enterobacter に有効であればカルバペネムでの治療と比較して他の細菌に及ぼす影響は少なくなります。そのため、これらの抗菌薬を使用された患者さんに対しての臨床的な有効性を調べることでどのお薬による治療が適切であるか調べることを目的としています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2026年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2010年1月から2020年12月に大阪市立大学医学部附属病院で入院され、血液から Enterobacter という細菌が検出された患者さんのうち、抗菌薬で治療された方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、薬剤情報、診療記録、細菌検査、血液検査データなど】
試料・情報の他機関への提供	特定の個人を識別できない形で、共同研究機関である公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院に試料・情報を提供いたします。
この研究を行っている共同研究機関	公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院 大阪市立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学
試料・情報を管理する責任者	公益財団法人田附興風会医学研究所 北野病院 薬剤部 小林 和博
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 臨床感染制御学 櫻井 紀宏 電話番号：06-6645-3784